

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和5年6月14日(水)
13時40分開会 14時20分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：中河つる子 副委員長：田村幸紀
委 員：只野敏彦、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智
- 5 議 件
(1) 所管事務調査の申し出について
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 13 : 40】

(1) 所管事務調査の申し出について

委員長（中河つる子）： 只今より、総務産業常任委員会を始める。所管事務調査の申し出についてである。9月定例会までの所管事務調査について、前回6月7日の確認事項は、9月初めに合同作況調査、これは営農対策協議会主催で町、農協、農業委員、普及センター等の参加について、農作物の生育状況についての申し出も行うということが一つ、もう一つが道内、一泊も含めて作況調査以外について各自検討し持ち寄ることとなっていたが、作況調査は皆さんで行くということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長： 作況調査以外の部分で考えていることがあればお話し願う。

田村委員： 閉会中の調査ということで、管外研修につなげるという意味で、6月議会閉会后9月の開会までの間というのは、一旦町内で町の政策提言とか政策形成を目的とする所管事務調査は別にやったほうがいいと思って、どういう項目があるかを考えてきた。その中で項目ごとに話したいが、町中の空き家対策とか空き店舗の活用というのも一度整理しなければならないというのが一つ、二つ目が町の遊休地の現状と合わせて、公共施設の今後の在り方であったり、再配置、へき地の廃校の利活用がどのように進んでいるのか、今後の意味も含めてこれは調査した方がいいかなということ、三つ目が公共交通、生活の足の確保というのが、今、町でやったり社会福祉協議会でやっているのが多岐にわたっているの、これを一度整理して、町民の皆さんの利用のしやすさというのを考えたらいいかなと思った。四つ目が情報発信の在り方というのも一度研究してみるのもいいかなと思った。五つ目が、国がこれから進める自治体DXの関係、これはこれから必ず各自治体に降りてきて、AIであったりロボットの関係のオートメーションシステムを入れるというもの、これから町に降りてくるデジタル田園都市構想交付金というのも今手厚くなってきているので、この辺についてもこれからの政策として考えなければならないかなというのが一つ、あと、身近なところでも地域おこし協力隊の採用と実際の活動状況、今後どのようにつながっていくのかということも一度調べたほうがいいと思った。自治体DXと絡めて町税などの収納について、キャッシュレス社会ということで、コンビニ納付であったりキャッシュレスで払えるという取り組みというもの、これから進めていかなければならないと思うので、この辺について調べたらどうかということも考えた。今、話した中で閉会中にできることを進めて、それから9月定例会の後に管外研修で先進地の視察などにつなげていくということのも一つの方法ではないかと考えてきた。

委員長： 田村議員から6点ほどだが、その他に何かあるか。なければ、今、田村議員から

出たこの内容から選ぶということによろしいか。

(「はい」との声あり)

鈴木委員：7点の中から選ぶのも構わないが、絡めながらやれるというのがいいかなと、ただ、その中でさっき言った公共交通は企画だけれども、実質社会福祉協議会なんだけれども、社会福祉協議会は厚生だし、困ったものだなと思いつつ、あと、公共施設も所管はあるけれども大した数じゃない。そうすると、空き店舗か情報発信の在り方か、自治体DX、地域おこし、何に直結しているかということも考えながらということだと思う。組み合わせながら皆さんと意見考えたほうがいい。今やらなければならないことを優先してやるべきだと思うので、もしくは、将来的にでも構わないが、ディスカッションしながらどうするかというのを言った方がいいと思う。

只野委員：私、3月議会で空き店舗の質問をしたし、今日は川上議員が空き家の質問をしていたので、この辺については自分の中では一番思っている事。あとは全部重要なことであるけれども、自治体DXもやらなければならないことであるが、私は苦手な分野なので、難しいと思っているけれども、これも必要なことだと思っているので、優先順位からしたら1番は空き家空き店舗で、次は自治体DXかなという思いである。

深沼委員：コミバスで、最初は色々な所に停留所があったりして、町民に使いやすい形であったが、ここ最近になると何か所か利用者が減った段階でそこを削除して、結局は今まで近かった部分が停留所まで遠くなった部分があると聞いていたので、その部分を企画にも聞いたことがあるけれども、買い物銀行バスとうまく併用していただきという回答しか出なかったが、お年寄りの買い物や銀行に行く中で、足って年取れば取るほどやっぱり町から離れていけば結構辛いと言っている。そういう部分、町としても考えてもらいたい部分があるので、そういった部分はどうかと思っていた。

委員長：暫時休憩する。

【休憩 13:51】

【再開 14:14】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。先程の話で出ていた中でどうか。

田村委員：6月閉会後の所管事務調査は、地域おこし協力隊の現状と、管内近隣町村の調査を行ったらいと思う。公共交通とかは9月閉会後、合同のものになるのかというのも検討していけばいいと思う。

委員長、田村委員の話した内容によろしいか。

(「はい」との声あり)

(2) その他

委員長：それでは、地域おこし協力隊の現状についてを所管事務調査ということに決めたいと思う。9月までの所管事務調査として、合同作況調査と地域おこし協力隊の現状についてということで確認する。それと、突発的な事項に対応するために、その他所管に関する事項についての申し出も行うこととする。その他として何かあるか。

中島委員：他の町にも調査範囲を広げたいという考えがあるのであれば、今申し出して、事務局で受け入れてくれるかどうかということも最終日までにある程度見通しつかんでもらわなければ。管内で申し出しておいて頂きたいと思う。

委員長：地域おこし協力隊について管内を調査するという事とする。その他になければ、これで総務産業常任委員会を終了する。

【閉会 14：20】